

インターンシップを中心とした 大学院における先端の実学教育

「実学の積極的導入による先端の工学教育」

最終報告シンポジウム

Final Report Symposium

for “Cutting-edge Engineering Education

through Introducing Practice-Based Active Learning”

◆ 2011年3月9日(水) 13:00～17:00

◆ 名古屋国際会議場・国際会議室

052-683-7711

名古屋市熱田区熱田西町1番1号

プログラム

参加費：無料 定員：100名 同時通訳付

第Ⅰ部 (13:00～14:15)

挨拶 豊田工業大学 学長 榊 裕之

祝辞 文部科学省(依頼中)

成果報告 大学院GP取組責任者 吉村 雅満

特別講演Ⅰ「マサチューセッツ工科大学(MIT)のインターンシップ」

MIT-Japanプログラム ディレクター

Prof. P. Gercik



—— 休憩 ——

第Ⅱ部 (14:30～16:00)

パートナー関連機関からの講演

1. 国立標準技術研究所(NIST) Dr. R. B. Goldfarb(アメリカ)

2. レンヌ第1大学 Dr. L. Le Gendre(フランス)

3. 韓国生産技術研究院(KITECH) Dr. S. Kim(韓国)

4. 国立中興大学 Prof. C. Lin(台湾)

5. 新日本製鐵株式会社 務川 進氏

ディスカッション

—— 休憩 ——

第Ⅲ部 (16:20～17:00)

特別講演Ⅱ「大学院教育に期待するもの」

トヨタ自動車代表取締役副会長

岡本 一雄氏



学校法人 トヨタ学園

豊田工業大学

大学院工学研究科

◆参加申し込み 2月28日(月)までに下記URLからお申し込み下さい

<https://ttiweb.toyota-ti.ac.jp/form/somu/gp-sympo22.php>

国際産業リーダーの育成

実学と座学とを積極的に融合させたチャレンジ・新教育

フィールド調査

先行調査・研究の動機づけを通して、修士・博士研究の展開を図る

学外実習

産業界の技術ニーズを学び、課題発見、問題解決能力等を育成する

TA 実習

指導力、積極性、コミュニケーション能力等の養成を図る

オンライン科目

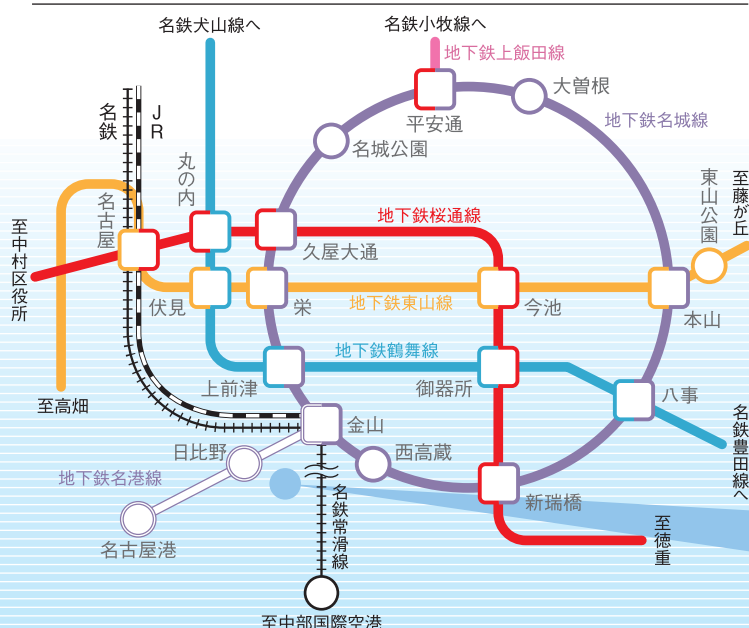
海外大学との連携による専門知識及び理工英語能力の向上

会場へのアクセス

◆主要駅・空港からのアクセス

各線名古屋駅から (所要時間約20分)	名鉄本線 JR東海道本線／JR中央線 のいずれかで 金山 にて下車 地下鉄東山線で 栄 にて下車 地下鉄桜通線で 久屋大通 にて下車	地下鉄名港線 または 地下鉄名城線(左回り) にのりかえ	西高蔵(新瑞橋方面) または 日比野(名古屋港行) で下車	徒歩 約5分
中部国際空港 (セントレア) から (所要時間約40分)	名鉄空港特急で 金山駅 にて下車	地下鉄名港線 または 地下鉄名城線(左回り) にのりかえ	西高蔵(新瑞橋方面) または 日比野(名古屋港行) で下車	徒歩 約5分

◆交通機関図



◆周辺案内図



問合せ：豊田工業大学 組織的な大学院教育改革推進プログラム本部（平戸）

TEL：052-802-1750 FAX：052-809-1721 E-mail：gp.program@toyota-ti.ac.jp

本プログラム HP：http://www.toyota-ti.ac.jp/graduateprogram/jitsugaku-pbal/index.html